



きゅうしょく

れきし

きゅうしょく

はじ



給食の歴史～給食の始まり～



めいじ ねん ねん やまがたけん ちゅうあいしょうがっこう ひんこん
明治22年(1889年)、山形県の忠愛小学校で貧困

じどう たいしょう むしょう ちゅうしょく ていきょう きゅうしょく
児童を対象に無償で昼食を提供したことが給食の

きげん い とうじ さけ しおや な
起源と言われています。当時はおにぎり、鮭の塩焼き、菜

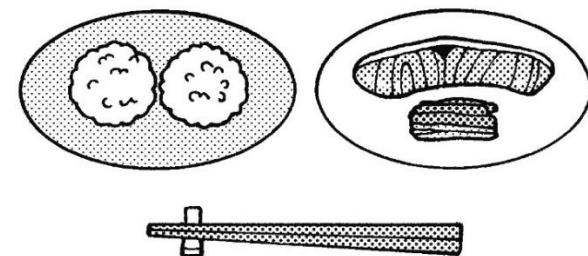
つけもの こんだて

の漬物という献立でした。

きゅうしょく さけ しおこうじ や やさい あ もの
給食では、おにぎりと鮭の塩麹焼きに、野菜の和え物

とんじる きゅうしょく げんてん
と豚汁をつけました。給食の原点を

かんしゃ 感謝しながらいただきましょう。





おにぎり、さけの塩麹焼き、ごま和え、とんじる
おにぎり、鮭の塩麹焼き、ごま和え、豚汁